

第16回定期総会特別決議

生協の役割を発揮し、人間らしく生きられる社会の実現をめざす

私たちは、これまで、だれもが、その人らしく生きられる社会をめざし、さまざまな取り組みをしてきました。とりわけ女性の地位向上には多くの努力が必要とされています。

2007年の働き方を見ると、1年を通して勤務した給与所得者のうち、年収が200万円以下の方は1032万2千人にのぼり、その74%が女性でした。これは、働いているあいだ低賃金である事が、働けなくなった時も年金が少ないなど、女性にとって生涯の貧困につながっています。

しかし、今、100年に一度と言われる不況の中、仕事と収入を失う人が増加し、社会問題となっています。

この間、労働の場では、女性に限らず、非正規など働く貧困層を増やし続けました。その上、この不況で派遣切りが実行され、さらに妊娠による解雇や収入の減少、内定の取り消し、子どもを預けられる所がなく仕事に就けないなど生活が成り立たない人達が増え続けています。

一方、投機マネーなどにより労働を伴わない利益を得る人も多く発生しました。

私たちは今、改めて、人間らしい働き方や、男女平等への努力・子育てを支える社会基盤の整備が大切である事や、基本的人権の確立・軍事費を見直し医療や介護の充実を図るなど、国が国民の生活を保障する「社会保障はどうあるべきか」を考える時ではないでしょうか。

女性協では、組合員の暮らしと健康を守る生協の場で、学習や交流の取り組みをを広げ、多くの人と平等を考え、人間らしく生きられる社会の実現をめざします。

以上決議します。

2009年6月16日
群馬県生協連女性協議会
第16回定期総会